

小山内裏公園かわら版

令和2年6月号

ホームページ・Twitterで
園内情報発信中



ホームページ



Twitter



発行日：令和2年6月30日 発行者：小山内裏公園パークセンター（TEL：042-676-8865）

希少な水生生物の生息環境保全の取組み

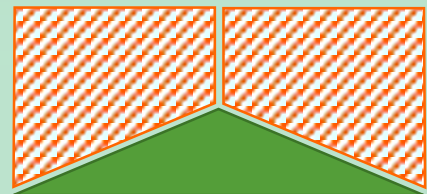
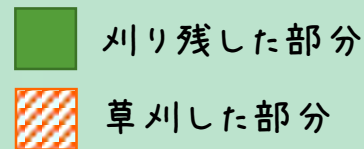


バックヤード裏のビオトープ池では、継続的にキイトンボなど希少な水辺生物の生息環境保全の取組みを実施しています。6月は1回目の草刈を実施しました。

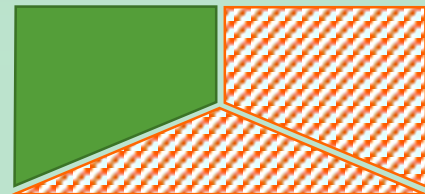
【キイトンボ(オス)】(令和2年6月撮影)

東京都レッドリスト南多摩NT(準絶滅危惧種)。護岸工事や水辺の植物除去などの影響を受けやすく、都市部を中心に減少傾向にあります。

草をあえて「刈り残す」



昨年8月に草刈した範囲



今回草刈した範囲

バックヤード裏ビオトープを3分割し、毎回全体の1/3の草をあえて刈り残しています。刈り残したところはキイトンボが他の強いトンボや鳥類の天敵の捕食から逃れるための隠れ場所になります。

「色々な環境」をつくる

草丈の高い草むら



草丈の低い草むら

水生植物の多い水面



水生植物の少ない水面

毎回刈り残す範囲を変えることで、いろいろな環境を作っています。その結果、様々なトンボの仲間、カエルの仲間等が生息できる空間ができあがります。

セタかざりに願いをこめて

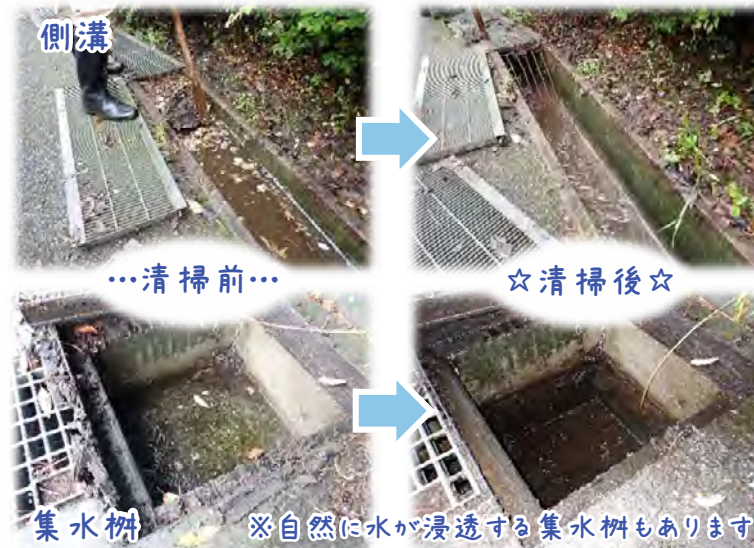
今年もパークセンター前野外展示場にセタかざりを設置しました。短冊の飾り付けは7月7日まで実施しています。ぜひお家で短冊に願い事を書いてきてくださいね！



6月28日撮影
※茶色い葉は自然に落葉したものです

乾燥を防ぎ、少しでも長持ちさせるため、公園内で笹を採取し、根をつけたまま移植しました。

～安全な公園をめざして～ 大雨に備える



側溝

…清掃前…

☆清掃後☆

集水桝

※自然に水が浸透する集水桝もあります

梅雨の時期に欠かせない作業が、一雨ごとに溜まる落ち葉や泥の「清掃」です！側溝、集水桝、園路などをこまめに清掃して水が溢れるのを防ぐ、地味だけど大切な作業です。



流出した泥の清掃

※一雨ごとに泥が流れ出るため、一部園路が歩きづらく、ご不便をお掛けしております。雨が止んだ時、順番に清掃いたしますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

どうしょくぶつをまもるため、マナーをまもりましょう